

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | | |
|----------|--|-----|------|---|
| 科目名 | ビルディング基礎実習 I | | | 授業のねらい バーナー作業やヤスリの使い方など、鉄鋼作業の基礎となる技術を習得。また、自転車フレーム制作に必要な知識を学び、プロセスや基本技法を身につける。 |
| 担当教員 | 村山、村田、高橋、橋本、北島、石川 | | | |
| 対象学年 | 1年 | | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | | |
| 授業時数 | 384時間 | 単位数 | 12単位 | 到達目標 図面に沿った自転車フレーム、及びフォークを制作する知識と技術の習得。 |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | | |
| 授業形態 | 実習 | | | |
| 備考 | 実務経験有＝村山・北島(フレームビルダー) | | | |
| 授業の計画展開 | <p>ビルディング基礎実習 I-1 手加工作業(パイプクランプ・座ぐり・パイラミネート)</p> <p>内容 パイプクランプ、パイプ座ぐり、パイラミネート型ラグ加工を通しフレーム製作に必要なヤスリ、糸のこ等の手加工作業を習得する。</p> <p>ビルディング基礎実習 I-2 溶接実習(キャリア製作)</p> <p>内容 パイプの曲げ加工を学びキャリアを製作。</p> <p>ビルディング基礎実習 I-3 シティーバイクフレーム製作(フォーク)</p> <p>内容 シティーバイクのフォーク制作。</p> <p>ビルディング基礎実習 I-4 溶接実習(ラグレスろう付けトレーニング)</p> <p>内容 ラグレスのろう付け方法を習得する。</p> <p>ビルディング基礎実習 I-5 シティーバイクフレーム製作(フレーム)</p> <p>内容 シティーバイクのフレーム製作(ラグレス工法)を通しフレーム製作の基礎を学ぶ。</p> <p>ビルディング基礎実習 I-6 制作テスト</p> <p>内容 ろう付けテスト/ジグセットテスト/筆記テスト。</p> | | | |
| 履修上の注意事項 | 各種専門工具の使用方法を習得し、安全な作業工程を理解することが大事である。 | | | |
| 評価方法 | 学内基準の仕上がり精度評価表に沿って、各課題ごとに提出される制作物を評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | | |
| 参考文献 | 「自転車ビルダー入門」 | | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | |
|----------------------------------|--|--|--|
| 科目名 | メンテナンス基礎実習 I | | 授業のねらい |
| 担当教員 | 大槻、鈴木、濱中、関根、竹内、遠藤、高橋、横溝 | | 自転車整備に必要な専用工具、パーツの使用方法や名称を理解し、各種自転車の安全性を考慮したメンテナンス基礎技術を習得する。 |
| 対象学年 | 1年 | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | |
| 授業時数 | 360時間 | 単位数 11単位 | |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | 到達目標 |
| 授業形態 | 実習 | | 日本で販売されている主要車種(シティバイク・ロードバイク・クロスバイク)の基本的なメンテナンス方法と、分解・組み付け技術を習得する。 |
| 備考 | 実務経験有=関根(ショップ経営)、大槻・鈴木(自転車整備)、遠藤(流通卸) | | |
| 授業の計画展開 | メンテナンス基礎実習 I-1 ホイール組(シティバイク) | | |
| | 内容 | ホイールを構成する各パーツの種類や役割を理解し、組み立て技術を習得する。 | |
| | メンテナンス基礎実習 I-2 シティバイク基礎知識 | | |
| | 内容 | シティバイクの各部名称や役割、使用工具の知識を講義、実習から学ぶ。 | |
| | メンテナンス基礎実習 I-3 シティバイクメカニック | | |
| | 内容 | シティバイクの分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。 | |
| | メンテナンス基礎実習 I-4 スポーツバイクメカニック(ヘッド&チェーン) | | |
| | 内容 | スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所であるヘッドセットやチェーンの調整技術を講義、実習から学ぶ。 | |
| | メンテナンス基礎実習 I-5 スポーツバイクメカニック(ブレーキ) | | |
| | 内容 | スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所であるブレーキの調整技術を講義、実習から学ぶ。 | |
| メンテナンス基礎実習 I-6 スポーツバイクメカニック(シフト) | | | |
| 内容 | スポーツバイクを組む際に調整が必要な箇所であるシフトの調整技術を講義、実習から学ぶ。 | | |
| メンテナンス基礎実習 I-7 ホイール組(スポーツバイク) | | | |
| 内容 | スポーツバイクのホイールを構成する各パーツの種類や役割、組み方を理解し、組み立て技術を習得する。 | | |
| メンテナンス基礎実習 I-8 ロードバイクメカニック | | | |
| 内容 | ロードバイクの分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。 | | |
| メンテナンス基礎実習 I-9 クロスバイクメカニック | | | |
| 内容 | クロスバイクの分解、組み立て、調整の技術を講義、実習から学ぶ。 | | |
| 履修上の注意事項 | 整備マニュアルに沿った作業手順で臨み、安全性を考慮した整備姿勢で作業に取り組むことが大事である。 | | |
| 評価方法 | 学内基準の精度評価表を基準とし、組み付けが完了した車両・車輪の整備レベルを確認・評価する。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | |
| 参考文献 | 「誰でもできる自転車メンテナンス」「旅する自転車の作りかた」 | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | | |
|----------|---|-----|-----|--|
| 科目名 | デザイン基礎実習 I | | | 授業のねらい 自転車の歴史や仕組みを学び、その形状や進化を理解する。また、図面作成に必要な基礎知識を身に付けて、自転車パーツ及びフレームの基本構成を理解する。 |
| 担当教員 | 横溝、橋本 | | | |
| 対象学年 | 1年 | | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | | |
| 授業時数 | 128時間 | 単位数 | 4単位 | 到達目標 CADを用いた自転車フレーム製図作成の習得。 また、自転車の製造、組立、展示、販売のリアルな現場について学び、自身と自転車ビジネスとの関わりについて考えることのできる人材になる。 |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | | |
| 授業形態 | 実習 | | | |
| 備考 | 実務経験有＝橋本(プロダクトデザイナー) 横溝(グラフィックデザイナー) | | | |
| 授業の計画展開 | デザイン基礎実習 I-1 ライノセラス入門 内容 3D CADソフト「ライノセラス」の基本的操作を学ぶ | | | |
| | デザイン基礎実習 I-2 CAD製図基礎 内容 製図基礎、サイクルパーツ作図、CAD作図、フレームの作図、フレームの製図。 | | | |
| | デザイン基礎実習 I-3 自転車環境基礎と提案 内容 自転車のルール・法説明、自転車一般常識、自転車の歴史、自転車の規格。 | | | |
| | デザイン基礎実習 I-4 自転車展示会場デザイン 内容 自転車の製造、組立、展示、販売等、自転車ビジネスに関する知識を習得する。 | | | |
| 履修上の注意事項 | CADソフトの操作方法を理解し、自転車フレーム制作作業に適した図面作成ができること。 | | | |
| 評価方法 | 提出レポート等の内容、及び図面の完成度、整合性を総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項とテキストを使用。 | | | |
| 参考文献 | なし | | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | | |
|---------|---|--|-----|--|
| 科目名 | デザイン造形実習 I | | | 授業のねらい グラフィックソフト(イラストレーター・フォトショップ)や製図ソフト(ライノセラス)の使用方法をロゴデザインや自転車フレーム設計の課題を通して身につける。 |
| 担当教員 | 横溝、橋本 | | | |
| 対象学年 | 1年 | | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | | |
| 授業時数 | 120時間 | 単位数 | 3単位 | 到達目標 グラフィックソフトを用いたプレゼン用のボードの作成技術と製図ソフトを使った自転車フレームの設計及び製図技術の習得。 |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | | |
| 授業形態 | 実習 | | | |
| 備考 | 実務経験有＝橋本(プロダクトデザイナー) 横溝(グラフィックデザイナー) | | | |
| 授業の計画展開 | デザイン造形実習 I-1 ロゴデザイン | | | |
| | 内容 | 現存する企業のロゴをリサーチ分析しながら、PCソフトを使ったオリジナルのロゴを制作。 また、そのロゴを配置したフレームグラフィックの作成。 色彩学、イラストレーター等。 | | |
| | デザイン造形実習 I-2 デザイン基礎知識 | | | |
| 授業の計画展開 | 内容 | デザインにおけるブランドとロゴ、色彩学、観察とスケッチによる自転車作図、製図基礎。 | | |
| | デザイン造形実習 I-3 CAD製図フレーム | | | |
| 授業の計画展開 | 内容 | CAD(ライノセラス)を使った自転車フレームのデザイン及び作図 | | |
| | 履修上の注意事項 商標権や意匠権などの知的財産権を理解し、新規で生み出すデザインの価値を知ることが大事である。 | | | |
| 評価方法 | 課題提出物の内容と授業姿勢を総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | | |
| 参考文献 | なし | | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | | |
|----------|---|-----|-----|--|
| 科目名 | 美術史・情報デザイン概論 I | | | 授業のねらい 近代美術、現代美術、SDGs概論、ビジュアルコミュニケーション概論など時代やジャンルを超えた表現活動について学ぶことで創作活動の幅を広げる。 |
| 担当教員 | 横溝、橋本 | | | |
| 対象学年 | 1年 | | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | | |
| 授業時数 | 16時間 | 単位数 | 1単位 | 到達目標 時代やジャンルを超えた人々の表現活動から、その意図を読み解く思考力を身につける。 |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | | |
| 授業形態 | 講義 | | | |
| 備考 | | | | |
| 授業の計画展開 | 美術史・情報デザイン概論 I 内容 近代美術、現代美術、SDGs概論、ビジュアルコミュニケーション概論。 | | | |
| 履修上の注意事項 | 講義の中で取り扱うジャンルが自身の取組むものと違っていても自身の創作活動に置き換えて考える事が大事である。 | | | |
| 評価方法 | レポートによる総合評価。 | | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | | |
| 参考文献 | なし | | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | |
|----------|--|------------|--|
| 科目名 | ビルディング基礎実習Ⅱ | | 授業のねらい |
| 担当教員 | 村山、村田、高橋、橋本、北島、石川 | | 金属曲げ加工や細パイプのロウ付け、Vブレーキの小物付け方法を習得し、自転車フレーム制作の応用力を身につける。また、フィレット仕上げのロウ付けを施したフレーム制作方法を習得する。 |
| 対象学年 | 2年 | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | |
| 授業時数 | 232時間 | 単位数 7単位 | |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | 到達目標 |
| 授業形態 | 実習 | | 曲げ加工を施した自転車フレーム・フォークを完成させることを目標とする。 |
| 備考 | 実務経験有＝村山・北島(フレームビルダー) | | |
| 授業の計画展開 | ビルディング基礎実習Ⅱ-1 金属加工(熱間加工・機械加工) | | |
| | 内容 熱間加工によるパイプのベンディングと旋盤・フライス盤等の工作機械実習。 | | |
| | ビルディング基礎実習Ⅱ-2 金属加工(パーツ製作) | | |
| | 内容 冷間加工を応用したパーツ制作。 | | |
| | ビルディング基礎実習Ⅱ-3 シクロクロスフレーム製作(ラグレス フレーム製作) | | |
| 履修上の注意事項 | 内容 ラグレスフレームの基本構造、制作方法を習得し、シクロクロスフレームの制作工程を実習する。 | | |
| | ビルディング基礎実習Ⅱ-4 制作テスト | | |
| | 内容 ろう付けテスト/ジグセットテスト/筆記テスト。 | | |
| 履修上の注意事項 | オリジナル図面作成に取りかかる際、市場で販売されている自転車やトレンドを積極的にリサーチすることが大事である。 | | |
| 評価方法 | 提出作品の精度・仕上げ完成度、及びオリジナルフレームのアイデアと図面整合性を総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | |
| 参考文献 | なし | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | | |
|----------|---|-----|-----|---|
| 科目名 | ビルディング造形実習Ⅱ | | | 授業のねらい 自身の体のサイズにあったオリジナルデザインのフレームを設計・制作。オーダーメイドに対応できる技術を身につける。 |
| 担当教員 | 村山、村田、高橋、橋本、北島、石川 | | | |
| 対象学年 | 2年 | | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | | |
| 授業時数 | 128時間 | 単位数 | 4単位 | 到達目標 オリジナルコンセプトの自転車図面に沿ったフレームを完成させる。 |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | | |
| 授業形態 | 実習 | | | |
| 備考 | 実務経験有＝村山・北島(フレームビルダー) | | | |
| 授業の計画展開 | ビルディング造形実習Ⅱ-1 フレーム制作の応用 内容 オリジナルバイクを一から考え制作する応用課題。 | | | |
| 履修上の注意事項 | オリジナル図面作成に取りかかる際、市場で販売されている自転車やトレンドを積極的にリサーチすることが大事である。 | | | |
| 評価方法 | 提出作品の精度・仕上げ完成度、及びオリジナルフレームのアイデアと図面整合性を総合評価。 | | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | | |
| 参考文献 | なし | | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | | |
|-----------------------------|--|--|------|---|
| 科目名 | メンテナンス基礎実習Ⅱ | | | 授業のねらい |
| 担当教員 | 大槻、関根、鈴木、遠藤、横溝、石川 | | | 自転車安全整備士・自転車技士の資格取得に必要な技術を習得。また、SHIMANO Di2パーツなどの電動パーツを取り扱い、整備の応用力を身につける。 |
| 対象学年 | 2年 | | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | | |
| 授業時数 | 384時間 | 単位数 | 12単位 | 到達目標 |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | | 市場に流通されている主流な車種(幼児車・クロスバイク・BMX・電動アシスト自転車・トラックバイク等)の分解・組み立て方法を習得。また、自転車安全整備士・自転車技士の資格合格レベルの知識と技術を習得する。 |
| 授業形態 | 実習 | | | |
| 備考 | 実務経験有＝関根(ショップ経営)、大槻・鈴木(自転車整備)、遠藤(流通卸) | | | |
| 授業の計画展開 | メンテナンス基礎実習Ⅱ-1 シティーサイクル実践編 | | | |
| | 内容 | 販売店の日常業務として行われる開梱時の商品チェックから組み立て、返品対応など、納品から陳列までの一連の流れを学ぶ | | |
| | メンテナンス基礎実習Ⅱ-2 メンテナンス技術確認テスト | | | |
| | 内容 | 1年次で学習したシティバイク、ロードバイク、ホイール組みの知識及び分解組立技術の再確認、テスト。 | | |
| | メンテナンス基礎実習Ⅱ-3 Di2・油圧基礎知識 | | | |
| | 内容 | スポーツバイクで定番になりつつあるSHIMANO Di2や油圧ブレーキの構造や知識を学び、整備力を身につける。 | | |
| | メンテナンス基礎実習Ⅱ-4 バイシクルビジネス概論 | | | |
| | 内容 | 卸、小売りなど、自転車業界における様々な業種の内容を理解する。 | | |
| | メンテナンス基礎実習Ⅱ-5 自転車安全整備士・自転車技士対策 | | | |
| | 内容 | 安全整備士、自転車技士の資格取得をするために必要な知識と技術の習得。 | | |
| メンテナンス基礎実習Ⅱ-6 パーツチューンナップ | | | | |
| 内容 | 変速機、ペダル、ハブ等のパーツオーバーホールや、チューブラー、チューブレス等の特殊タイヤについて学ぶ | | | |
| メンテナンス基礎実習Ⅱ-7 多種自転車整備基礎知識 | | | | |
| 内容 | campagnoloコンポーネント、フルサスサグ調整、サスペンションフォーク、幼児車、クロスバイク、BMX、完組ホイール、電動アシスト自転車、トラックバイクなど、流通する代表的な車種の周辺知識を学ぶ。 | | | |
| メンテナンス基礎実習Ⅱ-8 多種自転車整備実習 | | | | |
| 内容 | campagnoloコンポーネント、フルサスサグ調整、サスペンションフォーク、幼児車、クロスバイク、BMX、完組ホイール、電動アシスト自転車、トラックバイクなど、流通する代表的な車種の周辺整備力を身につける。 | | | |
| メンテナンス基礎実習Ⅱ-9 メンテナンスアドバンス① | | | | |
| 内容 | 自転車店の日常業務で対応できる、他店と差別化できる技術や知識について学ぶ | | | |
| メンテナンス基礎実習Ⅱ-10 メンテナンスアドバンス② | | | | |
| 内容 | ショップ営業の際に必要な不可欠なメンテナンス技術や知識を学び習得する。 | | | |
| 履修上の注意事項 | 就業時に必要となるメーカーカタログの読み方やパーツの互換性を熟知し、販売の即戦力を養うことが大事である。 | | | |
| 評価方法 | 学内基準の精度評価表を基準とし、組み付けが完了した車両・車輪の整備レベルを確認・評価する。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | | |
| 参考文献 | なし | | | |

授業シラバス

コース名 自転車クリエーションコース

| | | | |
|----------|--|---|---|
| 科目名 | デザイン基礎実習Ⅱ | | 授業のねらい |
| 担当教員 | 横溝、橋本 | | 自転車フレームの設計、スケッチでの表現、コンピューター演習を通し、構造理解と空間把握力を高め自分のアイデアを他者へ伝えられるようなデザインでテクニックを身につける。 |
| 対象学年 | 2年 | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | |
| 授業時数 | 96時間 | 単位数 | |
| 到達目標 | 到達目標 | | |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | 乗り心地やパーツ適合性、また社会性、デザイン性加味した上でフレーム設計を描き、制作上必要な寸法を表記した作図能力を習得する。 また、ナイロン粉末造形機で出力可能な作図方法を習得し、出力後の立体物が予測通りに機能することを目標とする。 |
| 授業形態 | 実習 | | |
| 備考 | 実務経験有＝橋本(プロダクトデザイナー) 横溝(グラフィックデザイナー) | | |
| 授業の計画展開 | デザイン基礎実習Ⅱ-1 オリジナルバイク設計 | | |
| | 内容 | ロードバイク製図演習 企画設計実習としてディメンションの基本計算と作図。 | |
| | デザイン基礎実習Ⅱ-2 スケッチトレーニングアドバンス | | |
| 内容 | 物の観察から物の構造と空間認識力を高めスケッチの上達を目指す。 | | |
| 内容 | コンピューター演習Ⅱ-1 ライノセラス中級 | | |
| | 3D CADによる三次曲面作成/ライノセラス演習。 ライノセラスでより複雑な形状を作成するトレーニング。 | | |
| 履修上の注意事項 | ヘッド角やシート角、トレイル値によって乗り心地に変化が生まれることを十分に理解した上で作図することが大事である。 | | |
| 評価方法 | 図面の完成度、整合性を総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項とテキストを使用。 | | |
| 参考文献 | なし | | |

授業シラバス

コース名 自転車プロダクトコース

| | | | |
|----------|---|---------|--|
| 科目名 | デザイン造形実習Ⅱ | | 授業のねらい |
| 担当教員 | 横溝、橋本、橋 | | 設計や素材及び構造の研究を行い、デザイン能力を高める。 |
| 対象学年 | 2年 | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | |
| 授業時数 | 152時間 | 単位数 4単位 | |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | 到達目標 表現技術の習得と、それを他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につける。 |
| 授業形態 | 実習 | | |
| 備考 | 実務経験有＝橋本(プロダクトデザイナー) 横溝(グラフィックデザイナー) | | |
| 授業の計画展開 | デザイン造形実習Ⅱ-1 自転車設計概論 内容 ロードバイク、マウンテンバイク、ツーリングバイクの基本デザインについて学ぶ。 | | |
| | デザイン造形実習Ⅱ-2 ZINE エディトリアルデザイン 内容 企画・編集を含め、グラフィックソフトを使用したZINEのデザインから断裁、製本などを通して印刷の基礎を学ぶ。 | | |
| | デザイン造形実習Ⅱ-3 構造と素材 内容 自転車に限らず物体の構造と素材に関して講義と実習を通して学ぶ。 | | |
| 履修上の注意事項 | 企画立案をする際にアイデアを数点展開し、その違いを吟味した上で他者に伝える能力を身につけていることが大事である。 | | |
| 評価方法 | 課題提出物の内容と授業姿勢を総合評価。 *『授業の計画展開』にある課題毎に成績評価します。 | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | |
| 参考文献 | なし | | |

授業シラバス

コース名 自転車クリエイションコース

| | | | | |
|----------|--|-----|-----|--|
| 科目名 | 美術史・情報デザイン概論Ⅱ | | | 授業のねらい 近代美術、現代美術、SDGs概論、ビジュアルコミュニケーション概論など時代やジャンルを超えた表現活動について学ぶことで創作活動の幅を広げる。 |
| 担当教員 | 横溝、橋本 | | | |
| 対象学年 | 2年 | | | |
| 必修選択の別 | 必修 | | | |
| 授業時数 | 16時間 | 単位数 | 1単位 | 到達目標 時代やジャンルを超えた人々の表現活動から、その意図を読み解く思考力を身につける。 |
| 開講期間 | 2023.4.1～2024.3 | | | |
| 授業形態 | 講義 | | | |
| 備考 | | | | |
| 授業の計画展開 | 美術史・情報デザイン概論Ⅰ 内容 近代美術、現代美術、SDGs概論、ビジュアルコミュニケーション概論。 | | | |
| 履修上の注意事項 | 講義の中で取り扱うジャンルが自身の取組むものと違っていても自身の創作活動に置き換えて考える事が大事である。 | | | |
| 評価方法 | レポートによる総合評価。 | | | |
| テキスト | 学内で作成された課題要項を使用。 | | | |
| 参考文献 | なし | | | |